



## 2021年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月3日

上場会社名 EPSホールディングス株式会社  
 コード番号 4282 URL <https://www.eps-holdings.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 巖 浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 副社長執行役員 (氏名) 関谷 和樹

TEL 03-5684-7873

四半期報告書提出予定日 2021年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	53,531	10.4	5,280	66.3	5,672	73.0	3,146	51.5
2020年9月期第3四半期	48,481	3.3	3,174	17.2	3,279	15.8	2,077	1.2

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 3,713百万円 (170.6%) 2020年9月期第3四半期 1,372百万円 (40.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	71.26	
2020年9月期第3四半期	45.98	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	80,424	49,255	57.2
2020年9月期	70,458	46,939	62.6

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 45,981百万円 2020年9月期 44,106百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		10.00		10.00	20.00
2021年9月期		12.50			
2021年9月期(予想)				0.00	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年9月期第2四半期末配当金には、記念配当2円50銭が含まれています。

### 3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	12.5	5,500	20.8	5,900	18.5	3,300	65.4	74.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	46,311,389 株	2020年9月期	46,311,389 株
期末自己株式数	2021年9月期3Q	2,122,003 株	2020年9月期	2,212,221 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	44,162,175 株	2020年9月期3Q	45,188,533 株

(注)期末自己株式数には、EPS益新株式会社が所有する当社株式93,090株が含まれています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績全般の概況

	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	48,481	100.0	53,531	100.0	5,049	10.4
営業利益	3,174	6.5	5,280	9.9	2,105	66.3
経常利益	3,279	6.8	5,672	10.6	2,392	73.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,077	4.3	3,146	5.9	1,069	51.5

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

当第3四半期連結累計期間における当社グループ全体の連結売上高、連結営業利益はともに順調に推移しており、また各事業における新型コロナウイルスの影響は軽微に留まりました。

前年同期と比較すると、国内事業においては、CRO（医薬品開発受託機関）事業は、モニタリングを中心に高稼働が継続していること、SMO（治験施設支援機関）事業は、新型コロナウイルスの流行による、地方の医療機関への訪問制限や被験者の来院減少などの影響が徐々に低減してきていること、また、CSO（医薬品販売事業受託機関）事業はD I 業務\*や医薬向けコントラクトMR（契約医薬情報担当者）で新型コロナウイルス関連業務を開始したことに加え、他のサービスも順調に進捗しており、増収増益となりました。

海外事業において、Global Research 事業は、受注の競争環境が厳しく減収減益となりました。益新事業は前第1四半期、中国において製造ラインを一時的に停止しました。その後再開し増収となりましたが、中国における規制強化への対応費用が発生しています。

この結果、連結売上高は、対前年同期比10.4%増の53,531百万円となりました。

連結営業利益は、売上高が増加したことによる増益に加え、コスト構造改革を推進し管理面での費用削減を進めた効果が表れ、対前年同期比66.3%増の5,280百万円となりました。

※D I（drug information/おくすり相談室）業務：医薬品の最新情報を医療関係者向けに提供するコールセンター業務

セグメント別の業績は次の通りです。

セグメントの状況

当社グループは主として以下の5セグメント（国内3、海外2）にて事業を展開しています。

			前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
			百万円	百万円	百万円
国内事業	CRO	売上高	21,756	24,421	2,664
		営業利益	2,767	5,005	2,237
	SMO	売上高	9,961	10,280	318
		営業利益	1,234	1,562	327
	CSO	売上高	8,632	9,648	1,015
		営業利益	720	1,199	478
海外事業	Global Research	売上高	2,665	2,262	△402
		営業利益又は 営業損失(△)	124	△63	△187
	益新	売上高	6,046	6,784	737
		営業損失(△)	△251	△145	106

## ① C R O事業

C R O事業は主にイーピーエス(株)、E P クルーズ(株)及び、(株)E P メディエイトにて展開しています。同事業では、トータルソリューションサービスを提供するE P Sプラットフォームの構築を目指し、バーチャル治験の体制(Virtual Go)構築や、アカデミアなどとの共同研究を通じた知見の獲得など、新たなサービスの確立を含めた取り組みを行っています。

また、2021年6月30日において、情報技術(I T)に強みを持つC R Oである株式会社C A Cクロア(現:株式会社E P クロア)の買収が完了し、安全性情報管理支援ノウハウや、システム開発力を総合的に駆使することで、幅広い安全性情報業務支援を展開することを目指します。

売上高は前年同期と比較して2,664百万円増の24,421百万円(12.2%増)、営業利益は2,237百万円増の5,005百万円(80.8%増)となりました。

主な業務別の状況は以下の通りです。

## [治験・PMS業務]

複数の取引先とのアライアンス契約による受注が想定を上回って進捗しており、モニタリング業務やデータサイエンス業務を中心に高稼働率が続いているほか、データサイエンス業務において、低採算案件に対する業務効率化などの効果が表れ、増収増益となりました。

## [臨床研究業務]

多様化する臨床研究に対して体制強化及び上流工程からの支援サービスの拡充と営業強化に取り組んでいます。医師主導治験を含めたアカデミア案件を中心に引合いが順調であり、また臨床研究におけるモニタリング業務が、高い稼働率を維持しており、原価削減の効果もあり増収増益となりました。

## [医療機器、その他業務]

非医薬品のC R O事業を強化するため、医療機器業務と機能性食品のC R Oとの連携を図っています。前年同期と比較すると、医療機器業務が市場の拡大とともに、堅調に売上を伸ばしています。また、機能性食品関連業務は、機能性表示食品などの受注が増加し、前年同期と比較して増収増益です。

## ② S M O事業

S M O事業は、(株)E P 総合にて展開しています。

同事業では試験依頼者への新しいサービスを含めた提案営業やアライアンス契約による受注の確保、症例集積性のよい優良施設に対するリソースの集中などの地域戦略を積極的に行っています。

売上高は前年同期と比較して318百万円増の10,280百万円(3.2%増)となりました。営業利益は327百万円増の1,562百万円(26.6%増)となりました。

業務面においては、必須文書など治験関連文書の電子化によるI R B(治験審査委員会)の遠隔審査体制の推進により、試験の効率化を図り生産性を向上させています。さらに、医療機関に配置したS D M\*が試験データの集中管理を行うことでC R C(治験コーディネーター)の負荷を軽減し、迅速な症例集積と試験コストの低減を図る新しいビジネスモデルを展開しています。前年同期と比較すると、引合いが好調で多くの案件が稼働しています。新型コロナウイルスの流行による、地方の医療機関への訪問制限や被験者の来院減少などの影響が、徐々に低減してきていることや、人員の適正配置や管理コストの抑制などの施策を推し進めたことから増益になりました。

※S D M(Site Data Manager) : C R Cが被験者・医療スタッフとの対応や症例集積に集中するために、S D Mとして治験モニター(C R A(Clinical Research Associate))を医療機関に配置し、データの精査やシステムへの入力などを専属で担当する。

## ③ C S O事業

C S O事業は(株)E P ファーマライン、(株)E P フォース及び(株)E S リンクにて展開しています。

売上高は前年同期と比較して1,015百万円増の9,648百万円(11.8%増)、営業利益は前年同期と比較して478百万円増の1,199百万円(66.4%増)となりました。

主な業務別の状況は以下の通りです。

## [D I業務]

新型コロナウイルスに関連したサービスを製薬会社に提供開始したこともあり、増収となりました。また、利益面でもこれらの案件により稼働が高まり増益となりました。

## [コントラクトMR業務]

近年続いた製薬業界のMR削減に起因するコントラクトMRへの需要低減が収束し、引合いも回復傾向にあります。大型案件の契約期間が満了したものの、新型コロナウイルス関連業務などの案件に人員配置が着実に進み、稼働率を維持したことにより、若干の減収に留まりました。利益面では、高稼働率で推移したことに加えて、リモート活動を促進したことにより増益となりました。

## [その他業務]

学術資材作成業務は、WEBセミナーの開催増加に伴って受託業務が増加しました。また、製品販売後調査サポートサービスや医薬品流通管理などの業務が好調に進捗するなどして、増収増益となりました。

## ④ Global Research 事業

Global Research 事業はE P S インターナショナル(株)とその海外グループ会社で構成されており、日本、中国及びアジア・パシフィック地域でCRO事業を展開しています。

売上高は前年同期と比較して402百万円減の2,262百万円(15.1%減)となりました。営業損失は63百万円(前年同期間124百万円の利益)となりました。

海外から受託する国内試験については、グローバルCROとの競争激化により、新規受託が低調でした。

中国国内事業につきましては、前期買収した中国CROの北京格鋭博医薬研発有限公司(G&P)を中心として、中国市場の拡大に伴い引合いが増加していますが、一部試験の進捗が遅延した影響がありました。

アジア・パシフィック地域においては、海外の提携企業と事業基盤を再編しています。

## ⑤ 益新事業

益新事業は、E P S 益新(株)、益新(中国)有限公司の2つの統括会社及び中国のグループ会社で展開しています。

同事業は、(株)スズケンとの緊密な資本業務提携のもと、医薬品や医療機器を中心とした製品関連事業、国際貿易事業及び周辺サポート関連事業を展開し、一層の収益拡大を図っています。

売上高は前年同期と比較して737百万円増の6,784百万円(12.2%増)、営業損失は145百万円(前年同期間251百万円の損失)となりました。

同事業は、医薬品の製造販売を収益の柱としており、販売チャネルの選別による収益性の強化も取り組んでいます。売上・利益面では、前第1四半期は製造ラインを一時的に停止した影響がありましたが、製造を再開したことにより増収となりました。ただし、中国国内においても新型コロナウイルスの感染発生以降、医療機関への来院患者が減少していることから、販売への影響が続いています。また、中国における医薬品の製造に対する規制強化に対応するため、様々な改善費用が発生しました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月7日に2021年9月期第2四半期決算短信にて公表しました業績予想から変更はありません。

なお、2021年7月27日付「株式併合、単元株式数の定め廃止及び定款一部変更に関するお知らせ」にてお知らせしました通り、2021年8月27日開催予定の当社の臨時株主総会に株式併合、単元株式数の定め廃止及び定款一部変更する議案を付議することを決議しました。

本議案が可決されると、当社の普通株式(以下「当社株式」といいます。)は、株式会社東京証券取引所(以下「東京証券取引所」といいます。)の有価証券上場規程に定める上場廃止基準に該当することとなります。これにより、当社株式は、2021年9月17日をもって上場廃止となる予定です。上場廃止後は、当社株式を東京証券取引所市場第一部において取引することはできませんので、ご留意くださいますようお願いいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,127	21,511
受取手形及び売掛金	16,313	18,528
有価証券	1,378	1,460
商品及び製品	1,002	1,253
仕掛品	1,752	3,155
その他	3,494	4,105
貸倒引当金	△159	△180
流動資産合計	45,909	49,834
固定資産		
有形固定資産	7,244	9,437
無形固定資産		
のれん	5,984	9,631
その他	1,438	1,722
無形固定資産合計	7,422	11,353
投資その他の資産		
投資有価証券	3,690	4,183
敷金及び保証金	1,984	2,213
その他	4,206	3,402
投資その他の資産合計	9,880	9,799
固定資産合計	24,548	30,590
資産合計	70,458	80,424
負債の部		
流動負債		
買掛金	753	1,601
短期借入金	3,465	9,947
1年内返済予定の長期借入金	209	806
未払法人税等	2,104	665
賞与引当金	3,554	1,550
受注損失引当金	296	277
その他	9,835	11,153
流動負債合計	20,219	26,002
固定負債		
長期借入金	204	150
役員退職慰労引当金	110	53
退職給付に係る負債	1,767	1,697
資産除去債務	580	562
その他	636	2,703
固定負債合計	3,299	5,166
負債合計	23,518	31,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,888	3,888
資本剰余金	13,382	12,828
利益剰余金	29,007	31,159
自己株式	△2,802	△2,690
株主資本合計	43,475	45,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164	△29
為替換算調整勘定	559	885
退職給付に係る調整累計額	△93	△59
その他の包括利益累計額合計	630	796
非支配株主持分	2,833	3,274
純資産合計	46,939	49,255
負債純資産合計	70,458	80,424

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	48,481	53,531
売上原価	33,536	35,334
売上総利益	14,944	18,196
販売費及び一般管理費	11,770	12,916
営業利益	3,174	5,280
営業外収益		
受取利息	83	71
受取配当金	59	55
保険解約益	56	135
為替差益	-	226
その他	182	212
営業外収益合計	381	701
営業外費用		
支払利息	11	17
為替差損	19	-
支払手数料	-	277
新型コロナウイルス感染症による損失	195	-
その他	50	14
営業外費用合計	276	309
経常利益	3,279	5,672
特別利益		
保険解約返戻金	668	-
特別利益合計	668	-
特別損失		
事業再編損	274	-
特別損失合計	274	-
税金等調整前四半期純利益	3,673	5,672
法人税、住民税及び事業税	1,053	1,653
法人税等調整額	715	759
法人税等合計	1,769	2,412
四半期純利益	1,904	3,259
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△172	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,077	3,146

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1,904	3,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△615	△193
為替換算調整勘定	△21	613
退職給付に係る調整額	103	33
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	△532	453
四半期包括利益	1,372	3,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,549	3,312
非支配株主に係る四半期包括利益	△177	401

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額(注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	CRO事業	SMO事業	CSO事業	Global Research 事業	益新事業	その他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	20,697	9,938	8,569	2,528	6,032	714	48,481	—	48,481
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,059	22	62	137	13	1,350	2,646	(2,646)	—
計	21,756	9,961	8,632	2,665	6,046	2,065	51,127	(2,646)	48,481
セグメント利益	2,767	1,234	720	124	(251)	47	4,643	(1,468)	3,174

(注) 1 セグメント利益の調整額(1,468)百万円には、セグメント間取引消去等の9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用(1,477)百万円が含まれています。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用です。

2 株式会社E P S アソシエイトはE P S インターナショナル株式会社を2019年10月1日付で吸収合併し、商号をE P S インターナショナル株式会社へ変更しています。それに伴い、セグメントを「CRO事業」から「Global Research事業」に変更しました。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額(注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	CRO事業	SMO事業	CSO事業	Global Research 事業	益新事業	その他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	24,070	10,266	9,628	2,014	6,765	786	53,531	—	53,531
セグメント間の内部 売上高又は振替高	351	13	19	248	19	2,361	3,013	(3,013)	—
計	24,421	10,280	9,648	2,262	6,784	3,147	56,544	(3,013)	53,531
セグメント利益	5,005	1,562	1,199	(63)	(145)	(269)	7,288	(2,007)	5,280

(注) セグメント利益の調整額(2,007)百万円には、セグメント間取引消去等の(68)百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用(1,939)百万円が含まれています。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用です。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間に、当社が尚捷集團控股有限公司(現 E P S 創健科技集團有限公司)の株式を取得し同社を連結の範囲に含めたことにより、「その他」セグメントにおいてのれんの金額が3,845百万円増加しています。また、当社の連結子会社であるイーピーエス株式会社が、株式会社CACクロア(現 株式会社E P クロア)の株式を取得し同社を連結の範囲に含めたことにより「CRO事業」セグメントにおいて、のれんの金額が546百万円増加しています。なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は暫定的に算定された金額です。

## (重要な後発事象)

当社は、2021年5月27日開催の取締役会において、いわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）の一環として行われる新鷹株式会社（以下「公開買付者」という。）による当社の普通株式（以下「当社株式」という。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」という。）に賛同の意見を表明し、かつ、当社株主の皆様に対し、本公開買付けへの応募を推奨することを決議しました。

本公開買付けは、2021年7月8日まで実施され、当社は本公開買付けが成立した旨の報告を公開買付者より受けました。本公開買付けの結果、当社株式29,103,336株の応募があり、買付予定数の下限20,022,368株以上となったため、公開買付者はその全てを2021年7月15日（本公開買付けの決済の開始日）付けで取得しました。

本公開買付けにおいては、当社株式29,103,336株の応募があったものの、公開買付者は、本公開買付けにより、当社株式の全て（但し、公開買付者の親会社である有限会社ワイ・アンド・ジーが所有する当社株式のうち9,414,000株、当社の役職員である巖浩氏、宋軍波氏、田代伸郎氏、長岡達磨氏及び廣崎真史氏が所有する当社株式のうち26,632株及び当社の連結子会社であるE P S 益新株式会社が所有する当社株式93,090株並びに当社が所有する自己株式を除きます。）を取得できなかったことから、2021年5月27日に公表した「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」の「3. 本公開買付けに関する意見の内容、根拠及び理由」の「(4) 本公開買付け後の組織再編等の方針（いわゆる二段階買収に関する事項）」に記載の一連の手続を実施し、当社の株主を公開買付者及び有限会社ワイ・アンド・ジーのみとすることを予定しています。

そのため、当社は2021年7月27日開催の取締役会において、2021年8月27日に臨時株主総会を開催し、株式併合、単元株式数の定め廃止及び定款の一部変更、並びに資本金の額の減少についての議案を付議することを決議しました。また、株式併合に係る議案が原案通り承認可決されることを条件に自己株式を消却することを決議しています。

その結果、当社株式は株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」という。）の上場廃止基準に従い、所定の手続を経て上場廃止となる予定です。上場廃止後は、当社株式を東京証券取引所市場第一部において取引することはできません。

詳細については、2021年7月27日に公表しました、「株式併合、単元株式数の定め廃止及び定款一部変更に関するお知らせ」、「資本金の額の減少に関するお知らせ」、「自己株式の消却に関するお知らせ」をご参照ください。